

丹波東部（竹田川流域圏） 地域総合治水推進計画

～ 丹波東部地域の取組状況 ～

平成27年2月24日

【 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 】

総合治水について

これからの取り組み

ながす

川や下水道で流せる水の量を増やすための対策



ためる

雨水が川へ一気に流れ出さないための対策



そなえる

大雨による被害を小さくするための対策



降った雨を、早く安全に「ながす取組（河川下水道対策）」だけでなく、「ためる取組（流域対策）」、「そなえる取組（減災対策）」を組み合わせることで、水害を少しでも軽減する取り組みが「総合治水」である。

- ・県、市及び県民が相互に連携を図りながら、協働して総合治水を推進する。
- ・県民は、自治会等が主体となって、県民一人一人が総合治水を理解してもらうための取り組みを推進する。

■ 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画の基本目標

【基本目標】 総合治水の基本理念に基づき、以下の基本目標を定める。

「ながす取組」
(河川下水道対策)

竹田川、鴨庄川及び滝の尻川について、戦後最大規模である昭和58年9月の台風第10号程度の洪水(土師川合流点で900m³/s)を安全に流下させ、また資産が集中する黒井川については、昭和58年9月程度の洪水に対し、家屋への浸水を軽減するための河川下水道対策を段階的に実施する。

「ためる取組」
(流域対策)

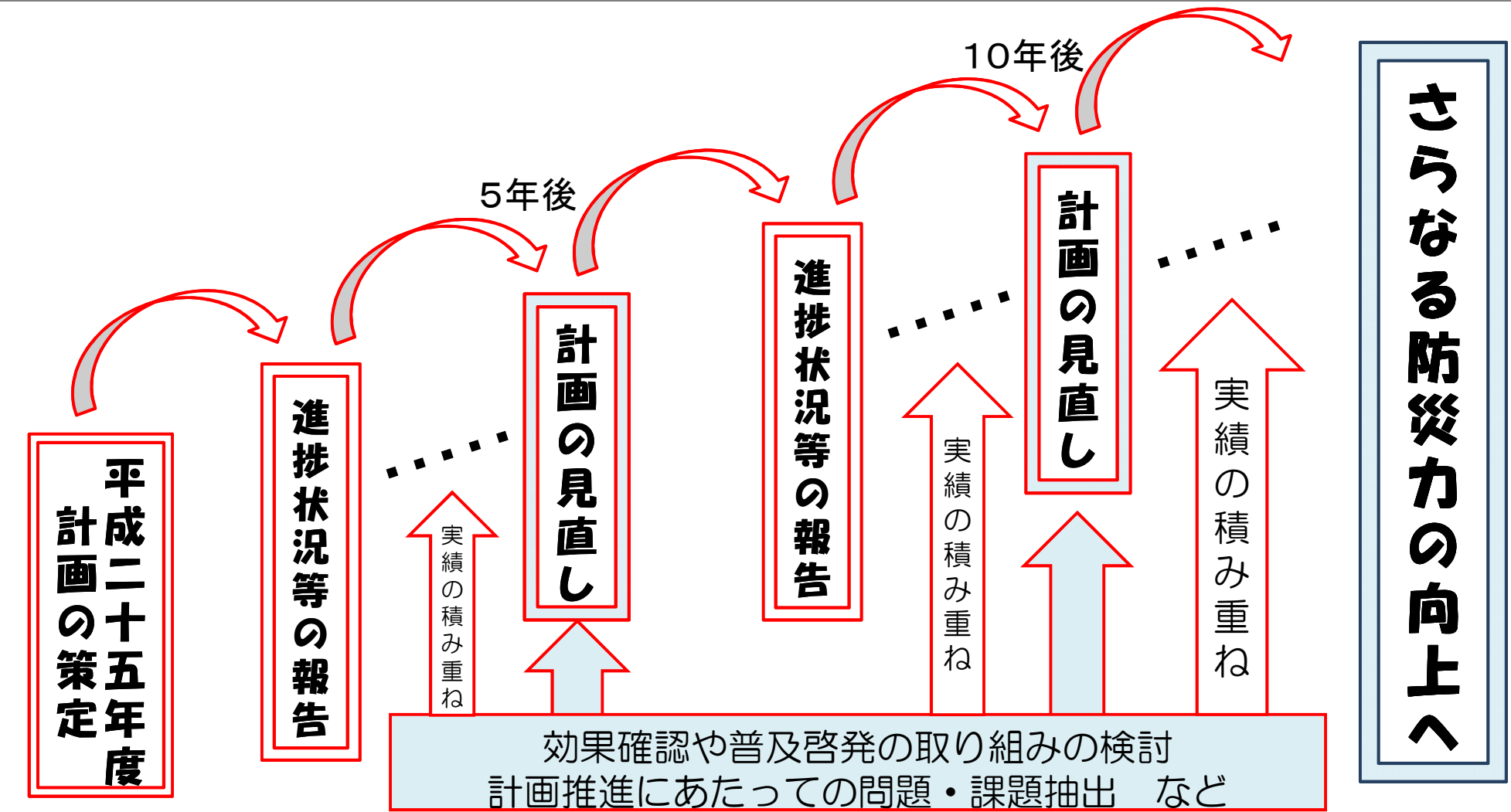
従来の治水対策だけではなく、雨水を一時的に貯留・地下に浸透させ、河川等への流出を抑制する等の流域対策に取り組む。

「そなえる取組」
(減災対策)

訓練等により、浸水してもその被害を軽減する減災対策を推進する。

【計画期間】 平成25年度から概ね10年間

■ 今後の計画見直し等について

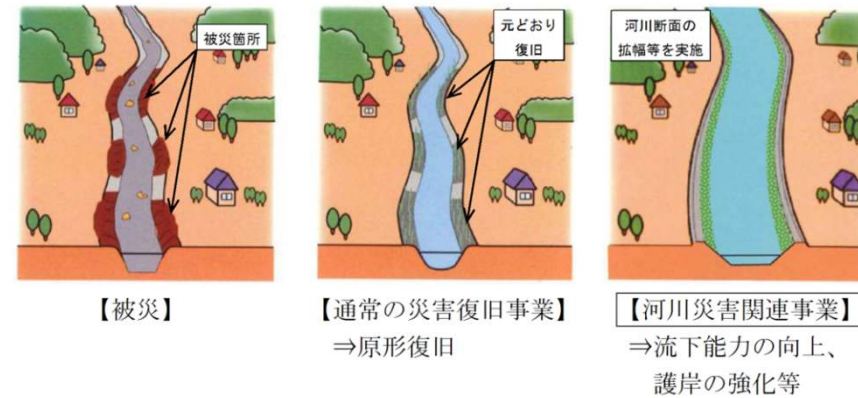


流域圏での総合治水対策（「**なかす取組(河川下水道対策)**」・
「**ためる取組(流域対策)**」・「**そなえる取組(減災対策)**」）

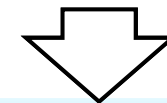
被災した河川の改良復旧等を行う

美和川

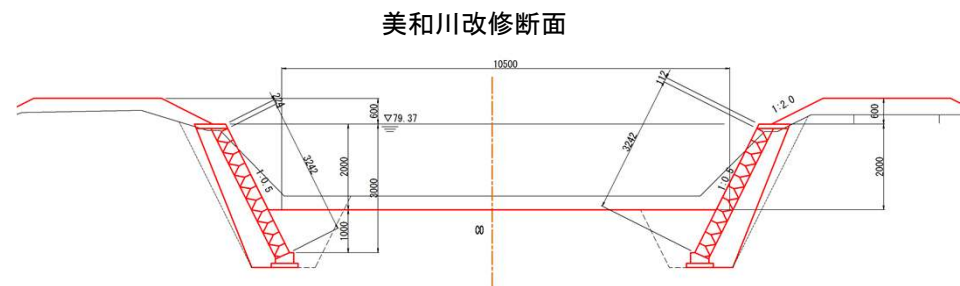
他



[被災状況]
美和川は、流下能力不足、河床洗掘等により、護岸が損壊



[主な対策]
美和川の流下能力不足を解消するため、改良復旧等を実施



調整池の設置指導



ためる
流域対策

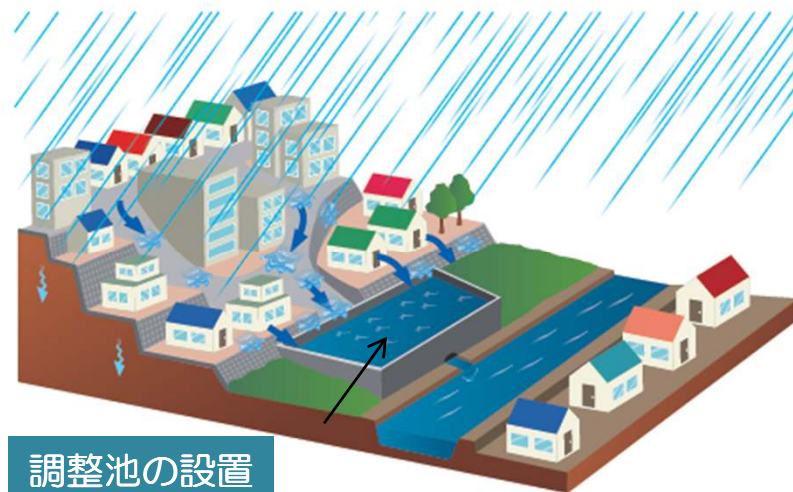
開発行為における調整池の義務付け

兵庫県

- 1ha以上の開発行為（土地の形質を変更する行為）によって、周辺地域に浸水被害を発生させる可能性が高まると認められたときは、雨水を一時的に貯留し、雨水の流出を抑制する「調整池」の設置及び適正な管理を義務づける。
- 既存及び1ha未満の開発に係る調整池についても、必要な場合は所有者の同意を得た上で、総合治水条例に基づく指定調整池として指定し、適正な管理を義務づける。

丹波市

丹波市では「丹波市開発指導要綱」に基づき開発行為者に対して、雨水貯留・浸透による流出抑制対策を行うように指導している。今後においても、適切な指導を行う。



調整池の設置



ため池の事前放流手法の検討

ため池管理者とのワークショップ



ため池管理者と学識経験者による検討会

- 神戸大学と連携し、営農に支障を及ぼさない「ため池の事前放流手法」について検討
- ワークショップや検討会では、営農への支障などについて、ため池管理者（実践者）の意見聞き取りを行い、地域に応じた取組み手法を検討

ため池事前放流リーフレット

事前放流の方法

現況施設の利用を考えてみましょう
既設のゲート、ため池を操作します

放流施設を整備して取組んでみましょう
洪水の切欠、放流管を設け、操作します

事前放流の効果

9.10月
台風期による大雨や集中豪雨の時にため池の貯水水を放流し、洪水を軽減するなどのことで、下流への被害を軽減します。

用水路や河川に放流されることによる浸水被害を軽減します。

対象たけ池

事前放流は、農耕に支障がないような取組が望ましいです。
事前放流が可能なため池を調査し、調査結果等を参考に取組を検討します。

防災への役割

事前放流の利点

- 洪水による被害を軽減する
- 下流で浸水被害が軽減してきますか？
- 浸水被害が軽減してきますか？
- 浸水被害が軽減してきますか？

農業用水としての役割

農業用水として、下流の農地を潤します

その他の役割

防災対策として活用していただけますか？

ため池施設状況

「放流ゲート」はありますか？

事前放流の放水システム（物地区別）

家畜用の放水システム（水牛・牛）

- ため池の事前放流手法啓発のためのリーフレットを作成

ため池の事前放流手法の啓発

ため池管理者への講習会



- ため池管理者を対象とした講習会「ため池管理基礎講習」「ため池事前放流講座」を開催
- 多面的機能支払制度地元説明会等でリーフレットを配布し、啓発
- 台風接近に備え、ため池事前放流を啓発

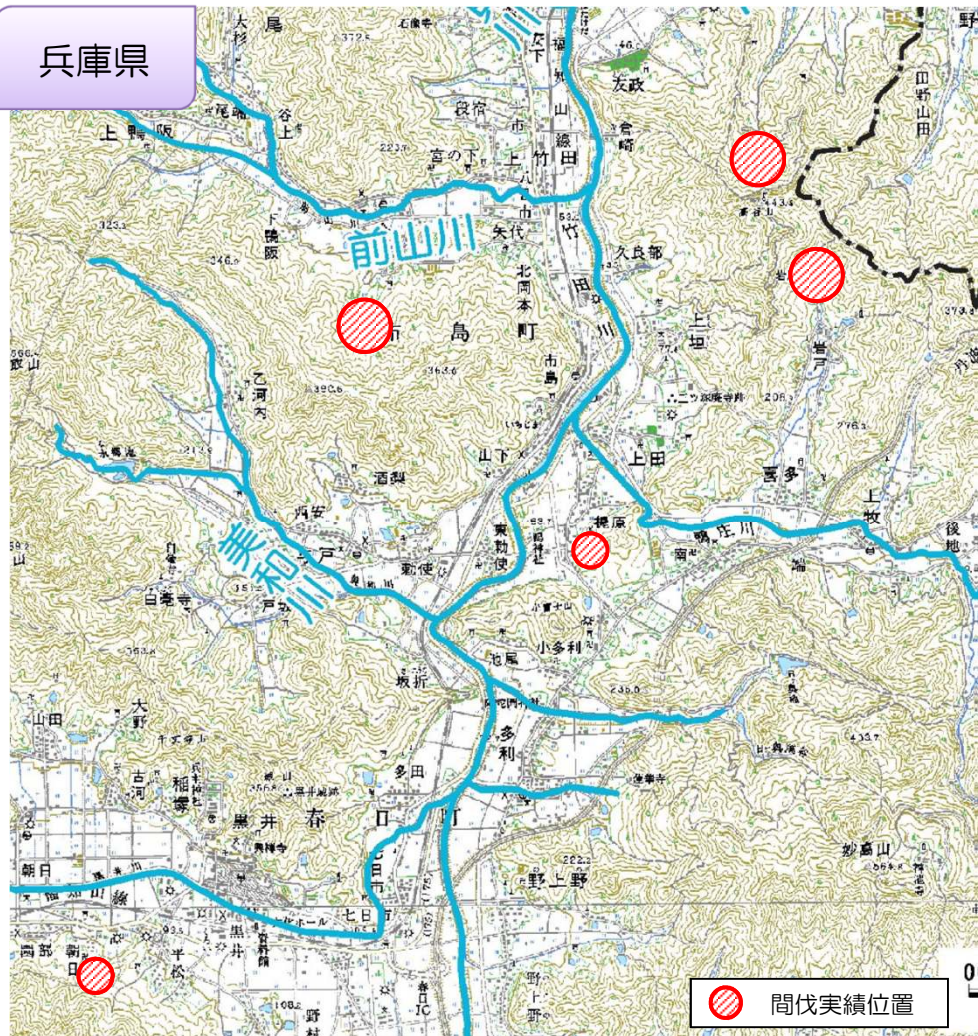
■ 森林など流出抑制機能を有する土地の保全等



ためる
流域対策

人工林の間伐

兵庫県



平成26年度に人工林の間伐等を58ha実施済み
(平成27年1月末時点)

森林など流出抑制機能を有する土地の保全等



ためる
流域対策

森林保全

兵庫県



表土侵食防止対策

市島町下竹田



危険木搬出

市島町徳尾



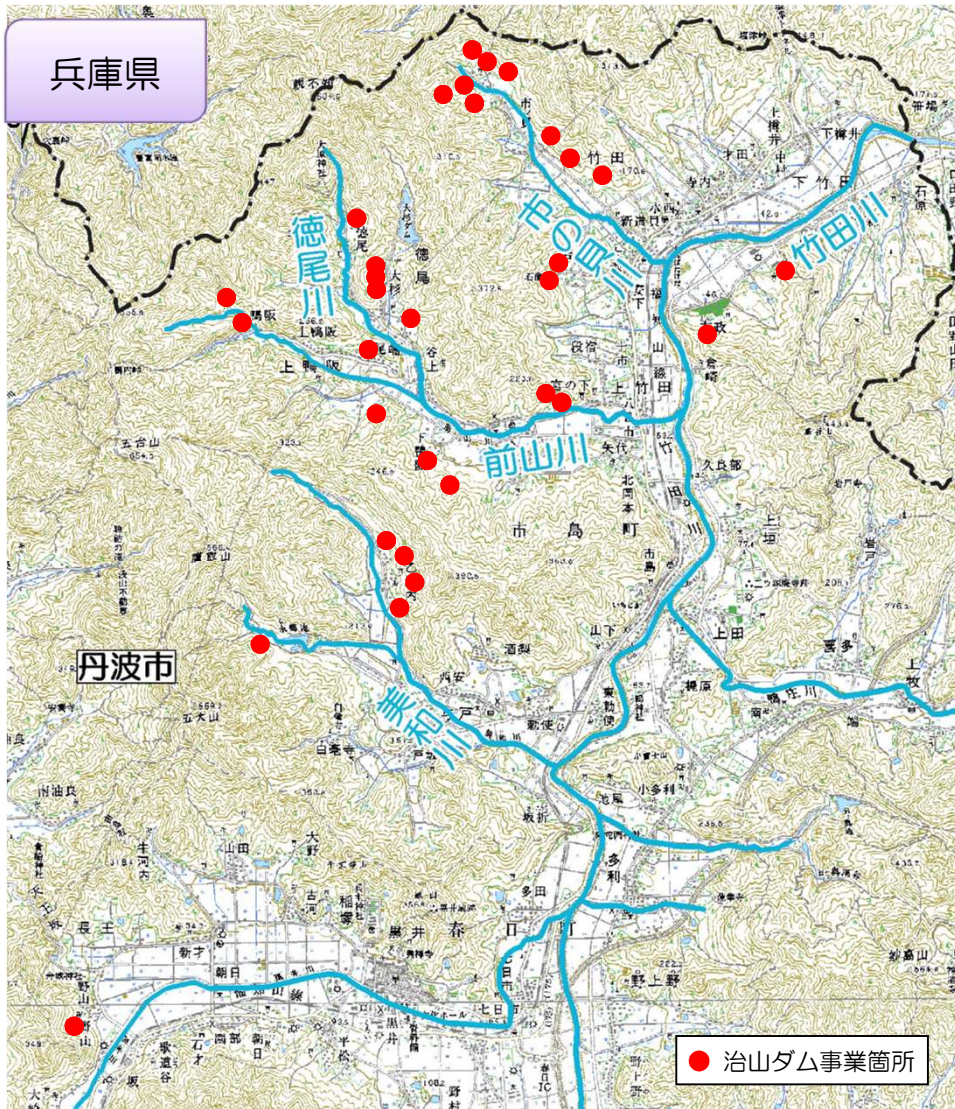
- 急傾斜地等にある間伐対象人工林で表土侵食防止対策として緊急防災林整備を26ha実施済み（平成27年1月末時点）
- 危険木搬出による流木対策を20箇所実施予定

森林など流出抑制機能を有する土地の保全等



ためる
流域対策

治山事業による流木・土砂災害防止対策



治山ダム

市島町北岡本



治山事業による流木・土砂災害防止対策（治山ダム）を平成26年度事業として32箇所実施予定であり、治山ダム34基、山腹工9箇所を施工予定



各種防災情報の入手方法の啓発に関する取組

兵庫県

丹波 6月号

兵庫県丹波市
発行所：丹波市役所
〒669-3309 丹波市丹波町松原6-8
☎0795(73)3721
☎0795(72)3077

丹波 1月号

兵庫県丹波市
発行所：丹波市役所
〒669-3309 丹波市丹波町松原6-8
☎0795(73)3721
☎0795(72)3077

発行所：丹波市役所
〒669-3309 丹波市丹波町松原6-8
☎0795(73)3721
☎0795(72)3077

水の災害に気を付けて!

梅雨や大雨が心配な季節がやって来しました。洪水や浸水、河川の氾濫など、水が引き起こす災害は、ときに大きな被害をもたらします。県民局ではさまざまな防災・減災対策を実施していますが、地域や家庭でもぜひ安全確認を行ってください。

ため池の活用で防災

ため池の水位をあらかじめ低下させておくため、洪水発生時にため池の貯留水を放出し、空容量を確保。下流への流出を減少させることで、漏水被害を軽減するものです。

本年度は、ため池管理者を対象にした講習会を実施するほか、モデルため池で簡易な改修を実施して防災機能の検証を行います。今後は、検証結果を踏まえた上で事前放流の取り組みを拡大する計画です。ご協力をお願いします。

●ため池事前放流の実際

台風等による大雨が原因で、水位が急上昇すると、ため池の水位をあらかじめ低下させておくことで、洪水発生時にため池の貯留水を放出し、空容量を確保。下流への流出を減少させることで、漏水被害を軽減するものです。

本年度は、ため池管理者を対象にした講習会を実施するほか、モデルため池で簡易な改修を実施して防災機能の検証を行います。今後は、検証結果を踏まえた上で事前放流の取り組みを拡大する計画です。ご協力をお願いします。

フェニックス共済に加入しよう!

一部掛増特約を受け付中です(8月1日参加可参加)。

住宅を所有する方の住宅再建共済制度	県内にお住まいの方の家財再建共済制度
年額5,000円 最大600万円の給付	年額1,500円 最大50万円の給付

一部掛増特約を受け付中です(8月1日参加可参加)。

住宅を所有する方の住宅再建共済制度	県内にお住まいの方の家財再建共済制度
年額5,000円 最大600万円の給付	年額1,500円 最大50万円の給付

パトロールを実施しています

6月は「備えを暮らしから守る月間」です。県民局では毎年、関係機関と合同で山地施設やため池などのパトロールや警戒監視などを実施しています。雨の多い時期は特に危険な場所に近づかないよう注意しましょう。

河川情報をチェックしよう!

身近な地域の災害情報、防災情報が簡単にチェックできるようになりました。最新の情報をこまめに確認することで、防災・減災につながります。

兵庫県河川監視システム

県内の河川の状況をライブ画像で見ることができ、水位も表示されるので、河川増水時の危険をいち早く察知することができます。丹波管内の河川情報は、兵庫県河川監視システム 丹波土木事務所 検索

河川の改修で防災

これまで柏原川と加古川の合流地点では、水の勢いの強い加古川の水が柏原川やその支流の高谷川に注ぎ、大きな水害が発生していました。新割堤を設け、合流地点を下流にすることで、加古川の水位を低下させることができました。

整備効果

整備前の水位と整備後の水位を比較すると、最大で約3mの水位低下が確認されています。

命を守る! 防災・減災

阪神・淡路大震災から20年。昨年は丹波でも豪雨災害が起きたなど、大きな被害をもたらす自然災害が各地で多発しています。災害から命を守るには普段からの防災・減災対策が重要で、家庭での備えとともに、地域の防災力を高め、災害に備えましょう。

家庭で取り組もう

家庭でできる4つの対策をしっかりと、家族の安全確保に努めましょう。

耐震化

昭和56年以前(旧耐震基準適用)に建てられた住宅は、耐震診断と必要に応じた耐震改修を受けましょう。診断や改修には補助制度があります。

兵庫県 住家の耐震改修 検索

室内安全

地震が起きると、家具が動いたり、落ちたりします。家具の配置の見直しや固定、落下防止をしましょう。

兵庫県 住家の室内安全対策 検索

食料等備蓄

大規模な災害が発生すると、支援物資が行き渡るまでに1週間くらいかかります。非常用食料や飲料水、常備薬などの生活用品を準備しておきましょう。

兵庫県 家庭での防災対策 検索

避難

適切な避難行動を取ることで命を守ることができます。白旗から避難場所や避難方法を確認し、家族で話し合っておきましょう。

兵庫県 避難場所の確保 検索

地域で取り組もう

災害時は地域での助け合いが不可欠です。地域防災力の充実を図るため、県では地域で開催する防災訓練や防災学習の企画・運営・実施を行う「ひょうご防災特別推進員」を派遣しています(無料)。ぜひ活用し、地域の防災力を高めてください。

防災情報を活用しよう

県河川監視システム

雨量、水位など河川の状況をライブ画像でチェックすることができます。丹波管内の河川情報は、下記から確認できます。

兵庫県河川監視システム 丹波土木事務所 検索

ひょうご防災ネット

登録すると、地震や気象などの緊急情報を携帯電話などのメールで受信できます。

ひょうご防災ネット 検索

フェニックス共済に加入しよう

年額5,000円の負担で最大600万円を給付し、住宅の再建を支援する制度です。家財再建共済制度や一部掛増特約もあります。丹波地域における加入率は平成26年11月末で3.5%(住宅)。未加入の方は災害に備えてぜひご加入下さい。昨年8月の豪雨災害でも給付を行っています。※関連情報は3ページ

特徴

- あらゆる自然災害が対象
- 地震保険やほかの共済に加入して、給付を受けられる
- 住宅の築年数や規模などに関係なく定額負担・定額給付

丹波県民局企画防災課 ☎0795(73)3721 ☎0795(72)3077

県民だよりひょうご丹波地域版 (H26.6月号) で水害に対する備えの特集を掲載

県民だよりひょうご丹波地域版 (H27.1月号) で防災・減災特集を掲載



防災メール

篠山市

大雨警報などの防災情報がケータイに!
ささやまデカンショ 防災ネット

①登録無料!
②テレビをつけていなくても
大雨警報など防災情報が分かる!
③市からの避難勧告も届きます!
※メールの送受信や防災ネットへのアクセスに必要な通信料はご負担ください。

大雨警報や土砂災害情報、地震・津波情報のほか、市役所からの避難勧告やライフライン情報などが電子メールでみなさんのケータイに届きます。
⇒⇒⇒ 右のQRコードより登録できます!! ⇒⇒⇒
または、<http://bosai.net/sasayama/> にアクセス!!

※パソコン、ケータイ、その他インターネット、電子メールができる端末ならなんでもOK!

ささやまデカンショ で **検索**

トップページからお知らせメールに登録を!!
登録方法は裏面です

※各自でケータイを操作して登録をしていただく必要があります。
※メールが届かない場合は、登録者の携帯電話側で迷惑メール対策（指定受信拒否など）が設定されている場合が考えられます。その場合は各自設定変更をお願いします。
※「info@bosai.net」が受信できるように設定してください。

丹波市

丹波市防災メールを登録しましょう（簡単登録方法）

最初に
tamba@bosai.net宛てに空メールを送信してください。
または 右記のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。

次に
空メールを送ると、まもなく返信メールが届きます。(※1)
メール本文にある「利用規約(必読)」を必ず読んでいただき、同意されましたら「利用規約に同意して登録する」を選択してください。

(※1) 空メールを送ったのに返信メールが届かない!
以下の原因が考えられます!
◆PCからのメールを拒否していないですか?
◆URL付きのメールを拒否していないですか?
◆メールのアドレスを正しく入力していないですか?
設定の変更については裏面をご参照していただき、各携帯電話会社へお問い合わせください。

返信メール
このようにメールが届きます!

登録完了画面
完了!
丹波市防災メール
◆登録内容の確認◆
以下のとおり登録されました。
◆緊急情報メール◆
◆丹波市防災メール◆
◆お知らせメール◆
◆丹波市防災メール◆
◆気象情報メール◆
◆地震情報◆
◆兵庫県全域◆
◆兵庫県北部◆
◆津波注意報・警報◆
◆気象警報・土砂災害警戒情報◆
◆丹波市◆
◆河川洪水予報◆
◆加古川◆
変更・解除する

丹波市防災メールからの防災情報や、気象情報をぜひご活用ください!

市役所窓口にチラシを設置するなど、防災メールへの登録を推進

■ 防災情報の伝達



そなえる
減災対策

避難情報の伝達に関する取組み

丹波市



- 防災行政無線の戸別受信機を全世帯に貸与。
- 防災行政無線デジタル化整備に向けてアナログ設備の更新を計画的に実施

■ 浸水による被害の軽減に関する学習



そなえる
減災対策

防災の担い手となる人材育成に関する取り組み

兵庫県

篠山市

丹波市

- 平成26年11月に丹波管内のひょうご防災リーダーを対象に、フォローアップ講座を開催。

「丹波地域ひょうご防災リーダー」等フォローアップ講座

テーマ：「防災減災クロスロードを使ったワークショップ」

講師：慶應義塾大学商学部教授 吉川 肇子 氏

日時：平成26年11月29日(土) 13:30~16:30
場所：丹波の森公苑 セミナー室

13:30 開会

13:35 防災減災クロスロードの説明及びゲームの実施

15:15 ~休憩~

15:30 クロスロードの解説

16:30 閉会

【講師紹介】
吉川 肇子(きっかわ としこ)氏
京都大学文学部(心理学専攻)卒業
早稲田大学文学研究科修士課程(心理学専攻)修了
京都大学文学研究科博士課程後期(心理学専攻)単位取得退学
京都学園大学法学部専任講師、筑波大学社会学系講師を経て現職



ゲームを通じて災害対応を話し合う参加者
=丹波の森公苑

丹波県民局は29日、防災の担い手を育てる講座を丹波の森公苑(丹波市柏原町柏原)で開いた。県のひょうご防災リーダー講座を受けた約20人が、シミユレーションゲーム「クロスロード」を使い、慶應義塾大学の吉川肇子教授が講師を務めた。参加者は4グループに分かれて難問に挑戦。「会社において地震が起き、家族と連絡がとれない。仕事を優先するか」では是非が分かれ、「普段、家族を大事にしても怒られない」との声も聞かれた。「午前0時に避難勧告。川沿いの自宅から高齢者を連れて避難するか」では多くが「いいえ」を選択。「最近、避難勧告は精度が低いので、安全な部屋に移すか」では是非が分かれ、「普段、家族を大事にしても怒られない」との声も聞かれた。「午前0時に避難勧告。川沿いの自宅から高齢者を連れて避難するか」では多くが「いいえ」を選択。「最近、避難勧告は精度が低いので、安全な部屋に移すか」では是非が分かれ、「普段、家族を大事にしても怒られない」との声も聞かれた。

災害対応ゲームで訓練

柏原住民20人考え深める

丹波県民局は29日、防災の担い手を育てる講座を丹波の森公苑(丹波市柏原町柏原)で開いた。県のひょうご防災リーダー講座を受けた約20人が、シミユレーションゲーム「クロスロード」を使い、慶應義塾大学の吉川肇子教授が講師を務めた。参加者は4グループに分かれて難問に挑戦。「会社において地震が起き、家族と連絡がとれない。仕事を優先するか」では是非が分かれ、「普段、家族を大事にしても怒られない」との声も聞かれた。「午前0時に避難勧告。川沿いの自宅から高齢者を連れて避難するか」では多くが「いいえ」を選択。「最近、避難勧告は精度が低いので、安全な部屋に移すか」では是非が分かれ、「普段、家族を大事にしても怒られない」との声も聞かれた。

「災害ではどんな状況に置かれるか分からないので、頭を働かせる訓練になった」と話した。(森 信弘)

平成26年11月30日神戸新聞

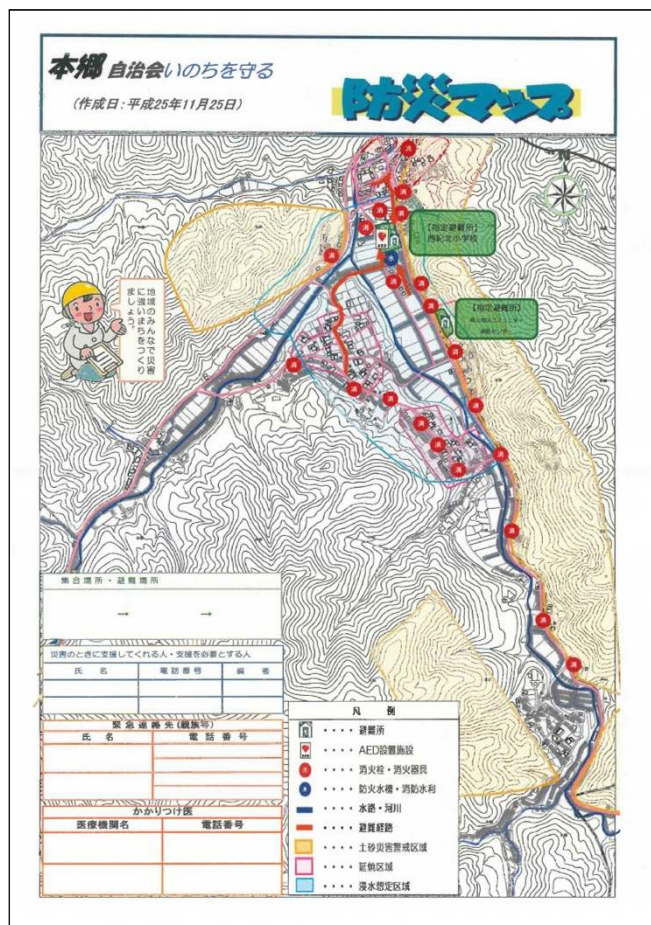
■ 浸水による被害の軽減に関する学習



そなえる
減災対策

自治会ごとのハザードマップの作成

篠山市



平成25年度に計画地域内の全自治会において作成完了。

丹波市



H22～25年度にかけて自治会ごとのハザードマップを整備。
自治会ごとのハザードマップの作成更新支援を行う。

■ 浸水による被害の軽減のための体制の整備



そなえる
減災対策

協定締結に関する取り組み

兵庫県

篠山市

丹波市

- H26.5大丹波連携推進協議会の構成市町（丹波市、篠山市、福知山市、綾部市、亀岡市、南丹市、京丹波町）により、「災害時の相互応援に関する協定」を締結。
- 災害時には応急復旧に必要な資機材・物資の提供、職員の派遣や被災者及び避難者の受入等を応援する。
- 通信途絶などで要請市町と連絡が取れない場合は、応援要請を待つことなく、他の市町と連携を図りながら、自主的な情報収集活動に基づく独自の判断で応援することが可能

大丹波連携推進協議会の構成市町による 災害時等相互応援に関する協定書

福知山市・綾部市・亀岡市・南丹市・京丹波町

篠山市・丹波市

防災訓練に関する取り組み

篠山市

自治会による自主防災訓練の実施（栗栖自治会）

〈栗栖・自主防災訓練次第〉

主催：栗栖自治会

日時：平成26年8月24日（日）午前8時～

場所：栗栖ふれあいセンター

〈実施内容〉

避難訓練

炊出し・非常食（試食）訓練等

防災に関する講話

避難訓練

「台風による大雨のため、住宅の裏山の崩壊の危険に基づく避難指示命令が出された」との想定の下、自力で避難できない避難要支援者の安全かつ円滑な避難を支援



防災に関する講話

ひょうご防災特別推進員による「防災についての講話」を実施

■ 訓練の実施



そなえる
減災対策

防災訓練に関する取り組み

丹波市



• 自主防災訓練における土嚢積み等水防訓練の実施。(H26年度:5回/春日、市島)

■ 浸水による被害からの早期の生活の再建



そなえる
減災対策

水害に対する保険制度等の加入促進

兵庫県

- 管内市・自治会の協力を得てパンフレット等を全戸配布。
- 丹波新聞への広告記事を掲載及び市広報誌への掲載依頼。
- フェニックス共済加入促進員による個別訪問。 など

篠山市

- 自主防災組織等が実施する訓練等の際にフェニックス共済加入推進員とともに共済内容の周知及びパンフレット等配布。
- 自治会長を通じ、パンフレットを配布。
- 市広報誌への記事掲載。 など

丹波市

- 自主防災組織等が実施する訓練等の際にフェニックス共済加入推進員とともに共済内容の周知及びパンフレット等配布。
- 市長の顔写真入り加入促進チラシ及びパンフレットを全戸配布。
- 市広報誌への記事掲載。 など

自然災害から「住まい」「家財」を守る
兵庫県住宅再建共済制度

フェニックス共済

フェニックス共済では、これまで半壊以上を給付対象としてきましたが、新たに一部損壊（損害割合10%以上20%未満）を給付対象とする制度（一部損壊特約）が平成26年8月1日からスタートします（加入申込みは4月から受け付けています）。災害への大切な備えとしてぜひ加入の検討をお願いします。

小さな負担で大きな支援

県内に住宅をお持ちの方の
住宅再建共済制度

年額5,000円で
最大600万円
の給付

分譲マンションにお住まいの方も入れます
※市町が発行する防災証明書で半壊以上の認定に限ります

県内にお住まいの方の
家財再建共済制度

年額1,500円で
最大50万円
の給付

借家（賃貸、社宅等）にお住まいの方も入れます
※市町が発行する防災証明書で半壊以上又は床上浸水の認定に限ります

さらにワンコインで追加加入できます！ **プラス** 住宅再建共済制度に上乘せ加入でもっと安心!!
※一部損壊特約のみにご加入いただくことは出来ません。

住宅再建共済制度（一部損壊特約）

年額500円で補修時等に**25万円**の給付

※市町が発行する防災証明書で一部損壊（損害割合10%以上20%未満）の認定に限ります。

住宅の被害認定	これまでの住宅再建共済制度の給付対象
全壊	年額5,000円で最大600万円
大規模半壊	
半壊	一部損壊特約で給付対象となる部分 年額500円で補修時等に25万円
一部損壊 (損害割合10%以上20%未満)	

この度、フェニックス共済では住宅が自然災害により半壊に至らない被害を受けた場合についても、共済給付金を給付することが出来るよう制度を拡充いたしました。

従来の住宅再建共済制度では給付対象外となっていた一部損壊（損害割合10%以上20%未満）について、年額500円の負担金で、補修時等に25万円を給付する制度が平成26年8月1日*からスタートします。

*一部損壊特約に8月1日より前にお申し込みいただいた場合でも加入日は8月1日となります。

平成26年8月1日スタート!!

安心を 共に育む フェニックス共済